

診療マニュアル(案)

口腔外科 抜歯バージョン
(器具準備・滅菌消毒)

平成29年度

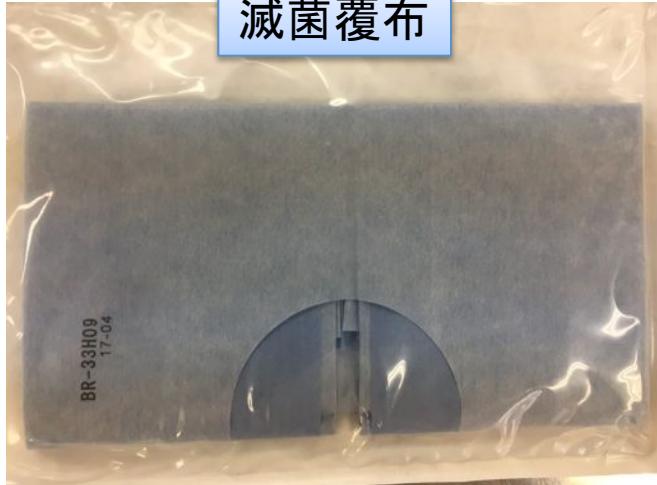
口腔外科（抜歯：滅菌操作）



サクションチューブ



滅菌覆布



基本セット

- デンタルミラー
- デンタルピンセット

埋伏セット(下記が入っていることを確認する)

- 消毒液(口腔内および口腔外)

- カートリッジ式注射器

- 伝達麻酔用

- 浸潤麻酔用

- 布鉗子

- 吸引嘴管

- 探針

- メスホルダー

- 骨膜剥離子

- 粘膜剥離子

- 扁平鉤

- 銳匙

- 持針器と縫合針

- マッカンドー

-
- 鉗子(鉗子および挺子を選択する)

- 挺子

口腔外科（抜歯：滅菌操作）

挺子および鉗子は適宜選択



滅菌グローブの装着



ワゴンの配置

手術後の注意事項の説明書

口腔外科小手術・抜歯後の注意

止血について

処置後は、止血したことを確かめてからお帰りいただいております。

その後、出血がある場合は、清潔なガーゼかティッシュをしめ、出血部位に当て塙んでください。

止まるまで 20~30 分ほどかかります。1 時間経ってもひどく出血している場合は、下記までご連絡ください。

内服薬について

処方された薬は、決まりたて指示通り服用願います。

発疹・かゆみ、その他異常が感じられましたら、すぐに服用を止めて下記までご連絡ください。

消炎鎮痛薬の使い方

痛み止めの薬は、飲んでも効き始めまるまで 20~30 分ほどかかります。

効かないからといって、続けるの服用はおやめください。

服用期間は、5 日間はある必要があります。

2~3 時間で効果が切れるような時は、下記までご連絡ください。

生活上の注意

本日、＊印は、おひかえください。

*強つばをはく *強うがをする *指や手で傷口をさわる

*血行が良くなる行為：*飲酒 *入浴 *激しい運動

*治りが悪くなる行為：*喫煙 *刺激物(辛いものなど)

麻酔後のひびきはしばらく持続します。その間、むちたり、頬や唇を噛んで傷つけたりすることがありますので、

麻酔の効いていない間は、飲み物は控えてください。

回復後は、水分や栄養を充分にとるように。

口腔内を清潔に保つこと、休養や充分な睡眠は感染予防のために大切です。

次回来院日について

傷口の消毒と回復の経過を見るため、後日術後の受診が必要です。

次回の予約日には、ご来院ください。(当日、都合の悪くなった場合は、ご連絡願います)

北海道医療大学歯科クリニック

歯科医師名

連絡先

平日 17 時まで

北海道医療大学歯科クリニック

① 0133-23-1211(クリニック代表)

② 0133-23-1646(口腔外科直通)

夜間・休日

北海道医療大学病院

住所：札幌市北区あいの里 2 条 5 丁目

③ 011-778-7575(病院代表)



口腔外科（抜歯：滅菌操作）

術前フェーズ

- ・清潔な診療着を着用のうえ外来に入室したら、帽子・マスク・ゴーグルを着用し、衛生的手洗いを行う。
- ・必要な器具を用意し、指導医に本日の治療内容を説明する。
- ・患者さんの来院が確認できたら、ユニットのメインスイッチを付けて器具準備とグローブの用意をする。
- ・患者さんを誘導できる環境であることを確認する。
- ・待合室で患者さんを確認し、挨拶したらユニットまで誘導する。
- ・指導医よりStudent dentistの紹介を患者に行う。
- ・医療面接を行い、本日の体調および抜歯予定部位に異常がないか聴取する。その結果を指導医に報告する。
- ・指導医の許可をもらったら、患者さんに手術内容（抜歯）の説明を行う。

術中フェーズ

- ・指導医が浸潤麻酔を行う。
- ・手洗いと滅菌グローブの装着を行う。以後は清潔操作とする。
- ・口腔内用の消毒薬（過酸化水素水および塩化ベンゼトニウム等）で消毒を行う。
次いで口腔外用の消毒薬（塩化ベンザルコニウム等）で消毒を行い、指導医に報告する。
- ・滅菌覆布を掛け終わったら指導医に報告する。
- ・指導医が浸潤麻酔の奏効を確認する。
- ・指導医の確認が終わったら、抜歯予定の部位に挺子を当てた状態で報告する。
- ・指導医の確認が終わったら、抜歯予定の部位に鉗子を当てた状態で報告する。
- ・基本的に抜歯は指導医が行うが、状況に応じて指導医の監督下に抜歯を行う。
- ・抜歯後に圧迫止血を行う。必要であれば縫合を行う。

術後フェーズ

- ・手術が終了したら後片付けを行い、終了したら指導医に報告する。
- ・グローブを脱いで手洗いを行う。
- ・抜歯後の注意事項を説明書を用いて行う。
- ・止血確認後、次回予定を患者さんに伝え、治療終了とする。
- ・2号用紙を記載し、指導医に見せてフィードバックをもらい次回予約を確認する。
- ・F領域、水準の検印をもらう。